



岩村町

74 旧家の家並

岐阜県 岩村町

住民の努力により、古い家並を保存。
タイムトラベルの町。



岩村町は、県の南東部に位置し、阿木川の支流岩村川の流域にひらけた町である。源頼朝が鎌倉幕府を開いたころ、重臣加藤景廉により日本三大山城のひとつである岩村城が築かれ、江戸時代には松平氏が受封して維新を迎えた。

岩村町の本町通りに面した勝川家、浅見家などの家並は、昔、岩村が岩村藩として、東濃地方を統治していたころからの庄屋の家々が今も残っているもので、一二〇年を経た今日でも、昔の繁栄ぶりを岩村の人々に伝えている。

この町並を保存するため、地域の住民の努力が払われており、昔の面影をそのまま現代に残したタイムトラベルの町となっている。

データボード

■所在地
岐阜県恵那郡岩村町
本町

■応募者
岩村町役場
☎05343-2111